

気象研究所 令和2年度研究成果発表会 ご挨拶

気象研究所 研究成果発表会のページにアクセスいただきありがとうございます。
ます。

気象研究所長 土井恵治 です。

気象研究所は、気象庁の施設等機関として、気象庁が発表する、気象、気候、地震などの各種情報の改善に向けた研究や、気象業務の将来を見据えた基盤的な研究など、我が国の気象業務を支える研究開発を行っております。その成果は、天気予報や気候変動の予測、地震や火山活動の監視などの気象業務の改善に活用されてきました。

こうした、私たちの研究活動の成果は、報道等で折に触れて公表しておりますが、気象研究所をより身近な存在として感じていただくために、研究成果を直接お伝えする機会として、研究成果発表会を平成15年度から毎年開催しております。

例年、ご関心のある皆様方に都内の会議施設にお集まりいただく講演会の形で実施しては、今年度の研究成果発表会につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、講演動画を皆様にご覧いただくオンライン開催の形をとることにしました。

今回は「オンラインで伝える研究の最前線」と題して、数ある私たちの研究成果の中から北極域での地球温暖化の影響、令和2年7月豪雨、津波予測といった、いずれも最先端の科学技術を駆使した、皆さまの御関心に沿うような、研究成果を御紹介いたします。

今回の研究成果発表会でご紹介したのは私たちの研究成果のごく一部で、この他にもまだまだ重要な成果がたくさん生み出されています。このような成果について、気象研究所のホームページを通じて積極的に発信してまいります。今回の研究成果発表会が私たちの取り組みや成果についてご関心を持っていただくきっかけとなり、ホームページを再度ご訪問いただくことを期待しています。